（別添資料１）

事業所名　むすひ

支援プログラム（むすひ）

作成日　2024 年　4 月　1 日

法人（事業所）理念	どんな時代・状況においても、子どもたちがいつでも希望や楽しみをもって生活をしていけるように、子どもたち一人ひとりの好奇心、自立心、創造性を大切にし、安心感と信頼感を感じる環境で育んでいく場所を目指します				
支援方針	子どもたち一人ひとりが表現・実現したい物事や思い、そして行動などを一緒に考え、挑戦し、例えうまく表現できなくとも一緒に色々な感情を共有できる場所で支援を行っております また一人ひとりの児童たちが自身の強みと個性を活かして成長していけるように、それぞれの価値観や考えを大切にした上で適切な行動・言動を身に付けていけるよう支援も行っています				
営業時間	10 時　0 分から　19 時　0 分まで		送迎実施の有無	（あり）　なし	
	支　援　内　容				
本人支援	健康・生活	☆基本的な生活における知識・スキル・応用性の習得・習慣性にしていく ☆生活リズムを自身の状況に合わせて整えたり、変化させていく為の自己管理を方法を習得していく ☆自身の体調管理、変化があった際の伝達方法などの習得			
	運動・感覚	☆様々な状況においての姿勢や動作などの習得と、周りの状況を感じとれる感覚の気付き習得 ☆社会環境における基本的な動作や行動の習得 ☆特性による感覚的、行動的な補助や改善・向上に向けての対応			
	認知・行動	☆それぞれの特性における特徴的な認知・行動においての適切な方法へ移行していく支援と知識の習得 ☆強度に応じてのリスクマネジメントや予防対策などの対応支援 ☆自身が楽しいこと、落ち着く行動等における周囲の影響や認識における自己認知の促進			
	言語 コミュニケーション	☆コミュニケーションにおける基礎能力の向上 ☆表現方法の適切化と他者の意見に対しての理解、受容を行うための経験値を習得 ☆伝える、伝わる嬉しさと聞いて感じる喜びによるコミュニケーションに対しての充実感への気付き			
	人間関係 社会性	☆他者とのよりよい関係性を築いていけるよう、適切なコミュニケーション方法を用いて信頼関係を構築できるようなサポートを行う ☆社会的なルール、一般的な常識を知識として持ち、急な変更等があっても基本的な行動や言動がとれるようにしていく ☆それぞれの特性に応じて必要なサポートや配慮を他者に伝えていけるようにする			
家族支援	両親だけでなく、兄弟、姉妹のご家族全体にもサポート・フォローが出来るよう、事業所で可能な範囲で相談等を受け付ける		移行支援	保護者・移行先等との情報共有をはじめ、各関係機関とも調整などを行い包括的な支援を行う	
地域支援・地域連携	保育所、学校等の機関をはじめ区役所、児童相談所等の行政機関、他の事業所や相談支援等の福祉機関などから近隣の住民の方とも可能な限り連携を行い、適時必要な連携を行う		職員の質の向上	☆各職員への社内外における研修・セミナーなどへの参加促進 ☆スキルアップにおける資格取得の推進	
主な行事等	☆室内イベント（調理・制作など普段の生活行動に直結できるようなイベント） ☆外出イベント（運動や知的好奇心を広げていけるような実践的なイベント） ☆季節行事（節分・クリスマスなど四季、暦などの文化や季節感を感じれるようなイベント）				